

作成日：R7年11月22日

高松圏域自立支援協議会 第5回知的障害者支援部会(当事者5名参加)

日付	令和7年11月7日(火)
時間	8:45～11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター第一研修室
参加機関等	高松市障がい福祉課、地域活動支援センターこだま、相談支援センターりゅううん、アイルコート、香川県立香川中部支援学校、香川県手をつなぐ育成会、当事者及び家族、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 欠)香川県川部みどり園 順不同 計17名

議題1：障害者権利条約勉強会について

議事	○内容 障害者権利条約について 講師：中部支援学校(15分) 今回は「働く権利」「自立と社会参加」「仕事の相談が出来る機関」について学ぶ。 その後、2つのグループに分かれてフリートークを実施した。場の雰囲気も良く、グループワークも前回よりスムーズに進行できた。
----	--

議題2：振り返りについて

議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・前回の「仕事についての悩み」から今回の講義が決まった為、参加者の関心と内容が合っていた。「まわりに支援者がいること」「相談の大切さ」を感じてくれていた。</li><li>・画像や映像がたくさんあり、イメージしながら講義を受けることが出来た。</li><li>・当事者の方たちも集中して話を聞いており、講義に引き込まれているのが分かった。</li><li>・私たち(支援者)も大変勉強になるものだった。</li><li>・トークカードを活用することで話がしやすかった</li><li>・前回から間がなく開催だった為、場があたたまりやすかった。話しや</li></ul>
----	--

	<p>すい雰囲気であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義が心に残っており、話題の中で講義にリンクした（仕事関係の）質問が出ていた。</li> <li>・ 情報提供の機会の大切さを感じた。情報があれば社会参加に繋がる。</li> <li>・ サポートが隣にいることで相談しながら話に参加出来ていた。</li> <li>・ 真面目な方にとって、簡単な質問（つい買ってしまうものは？等）が答えにくそうだった。</li> <li>・ 話が盛り上がり、難しい質問まで辿り着けなかった。→簡単な質問についても、質問の意図を理解しておくことで深堀できるのではないか。</li> <li>・ 開催時に守秘義務について確認しておくこと、より安心して話が出来るとのではないか。</li> <li>・ アンケートも含め、部会で出た話題などを集めて残してはどうか。当事者メンバーが話してくれたことは、とても貴重な意見が多かった。</li> <li>・ 支援者用のレジュメがあれば話を引き出しやすかった。</li> </ul>
--	---

議題 3：来年度のメンバーについて	
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ りゅううんからは50代男性、育成会からは60代男性、コンサフォスからは30代女性に声をかけてみる。1月の部会時までに参加の意思確認する。</li> </ul>

議題 4：強度行動障害スーパーバイザー派遣について	
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申し込み状況 職員研修 3件、個別ケース 3件 計 6件</li> <li>・ 対象者について 三木町在住で他圏域の事業所を利用中のケースは、SV を受けた事業所が他圏域になるので対象外となる。</li> </ul>

議題 5：第 6 回部会について	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 8 年 1 月 23 日（金） 13:00～14:30</li> <li>場所：リハビリテーションセンター第 1 研修室</li> </ul>